

## 新人看護職員 多重課題研修

新人看護職員「多重課題研修」は、時間までに行う業務や身体状況の変化、トイレなど患者さんからの訴えが発生する多重な場面の設定で演習を行いました。受講生たちはグループで助け合いながら1ケースにつき、ブリーフィング、デブリーフィングを繰り返し、患者さんにとって必要なケアを考えていました。受講生からは、「ちょうど今、多重課題に悩んでいたのが明日から実践に活かそう」「疾患や薬剤の知識が不足していた」「患者さんの安全のため他者に依頼したり協力を求める大切さを学んだ」「自分の日頃の行動がわかり課題が見えた」等の声が聞かれました。受講生が明確になった課題を共有し、ご支援をお願いします。



作戦会議  
(ブリーフィング)



看護実践場面



振り返り  
(デブリーフィング)



## 2021年度 補完研修が終了しました！

「12 誘導心電図・心電図」・「輸血」・「経管栄養」「吸引」・「ドレーン管理」の5項目の研修が終了しました。補完研修は部署が希望した項目、時期に応じて実施しました。技術により、受講生の経験値の差はありましたが、受講生同士で経験を語り、相互で学び合うことができていました。新人看護職員対象の全ての研修は終了しましたが不安のある技術などあればご相談下さい。新人の皆さん、元気で頑張ってくださいね！！

## 副看護師長 座談会を開催☆

6部署の副看護師長に参加して頂き、「教育に関する悩みを共有し相互支援する」をテーマに座談会を行いました。参加されたのは2-2 赤澤副看護師長、4-1 春木副看護師長、6-1 矢澤副看護師長、6-2 岡本副看護師長、7-2 吉野副看護師長、HCU 岩佐副看護師長です。コロナの大きな影響を受けたこの1年、応援を出す側、受け入れる側、部署の再編成などに対し、試行錯誤しながら体制を整えていました。その中で、「コロナ患者の受け入れで呼吸器を学習するいい機会になった、同時にストレスもあり病棟が少しピリピリした、落ち着いた今にもっといいケアができたか振り返りたい」「自分が他部署応援に出て不安や緊張を体感した」「教育上の観点で他部署応援をスタッフに打診したが、こちらの意向と本人の意向が合わないこともある、準備性やその後のフォローが重要」「応援をもらい本当に感謝している、病棟の大切なポジションの人に来てもらい病棟も大変だったと思う、みなさんすごく力になってくれた、そのようなフィードバックがもっとできたらよかった」などの語りがありました。

今年度の新人教育に関しては、部署の状況や新人の個性に応じ、教育スケジュールを適宜修正しながら取り組んでいました。実習経験や対面での学習機会が少ない新人に入職当初は出勤できることを目標とし、勤務内で新人同士が交流できる時間を作る工夫をしたなど参考になる話が聞けました。またコロナで大変だった反面、「部署編成で新人がたくましくなった」「人事交流がよい学びとなっていた」「他部署で輸血の技術を自立して帰ってきた」などの語りもありました。今後も、副看護師長どうしのつながりを大事にし、悩みや意見を共有し北大病院の看護職員をみんなで育てることができるよう相互支援することが必要であると確認し、会は終了しました。



ご参加ありがとうございました

